

ねっとわーく

市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- わがまち折尾を探検！魅力発見！そして・・・
「ぼくのまち、わたしのまちを紹介します」
おりおん☆あびーる隊を結成！
……北九州市立折尾東市民センター
- 「共に創る地域自治を目指して」
～自分たちのまち意識の高まりへ～
……春日市須玖北地区公民館
- 『災害を通して公民館の在り方を考える』
……大牟田市三川地区公民館
- シニアパワーアップ塾
～地域で元気に活躍する70歳現役社会の実現を目指して～
……添田町そえだ公民館

こちら県公連

- 令和2年度福岡県公民館実践交流会報告

令和3年3月 公民館情報通巻149号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575

福岡市博多区東公園7-7

福岡県教育庁教育振興部社会教育課内

TEL 092-643-3887

FAX 092-643-3889

特色ある公民館活動

おりおん☆あびーる隊
〈折尾東市民センター〉



子ども交流事業
〈春日市〉



ボランティアの皆さん
〈大牟田市〉



学童保育所での昔遊び
〈添田町〉



わがまち折尾を探検！魅力発見！そして・・・「ぼくのまち、わたしのまちを紹介します」

おりおん☆あぴーる隊を結成！



折尾東市民センター

【地域の概要】

折尾地域は北部九州有数の学園都市として、JR 折尾駅を中心に、多くの学校が連立しています。また、住宅地と商業施設が混在し、病院や銀行、飲食店が多い地域でもあります。住みやすく、魅力的で、にぎわいのあるまちづくりを目標に掲げ、「新しくなる街 折尾」をキャッチフレーズに、折尾駅建て替え工事をはじめ、折尾地区総合整備事業が進んでいます。

【活動の目的】

- * 地域間交流を目的とした体験型子ども講座（2つの異なった地域の子どもたちが、わがまちのいいところを探して学習した成果を、地域自慢しあいながら交流する。）
- * 子どもの主体性を大切にしながら、シビックプライドの醸成を図る。
- * 専門家（子どもの健全育成）の助言と協力のもと、地域の方が持ち得る情報を、直接子どもたちに伝えることで、より深い学びの場を提供する。



【活動の特色】

- * 「歴史と商業の街 折尾」にふさわしい地域の有志の方々が実行委員会のメンバー
- * 「新しくなる街 折尾」の象徴である折尾駅を中心とした展開
- * オンリーワンの体験活動（折尾駅バックヤード見学・折尾神楽体験会・駅弁立ち売り体験・地域通貨ゲット体験・堀川ディープ散策等）
- * 大学生ボランティアの学習指導と子どもたちの見守り

【活動内容】

ミッション1	ミッション2	ミッション3	ミッション4
折尾のまちを知ろう！ （探検・取材）	折尾のまちをアピール する準備をしよう	葛原のまちへ出発 （JRに乗ってGO!）	折尾のまちに招待！ わがまちの魅力を披露

この講座はコロナ禍の前に辛うじて実施することができました。応募してくれた折尾東小学校5・6年生の子どもたちが、折尾のまちの代表として、小倉南区葛原（くずはら）の子どもたちと、わがまち自慢で地域間交流をしました。講座は、7月～9月の間で1日×4回計画しましたが時間が足りずに発表の練習や小道具づくりのために、自主的に何度となく集まり、やっと完成させました。最終日は、葛原より30名の方を折尾に招き、総勢70名の前で、折尾駅・駅弁立ち売り・折尾神楽・地域通貨オリオン・堀川について、子どもたちが学習したことを立派に披露することができ、無事あぴーる隊の任務を終了しました。折尾のまちをアピールできる子どもたちを育てようと、NPO 法人メンバー、駅長、郵便局長、神楽保存会、駅弁立ち売り職人、歴史家、小学校長など、人の輪が広がり、沢山の方々が実行委員会メンバーとなり、会議を重ねて子どもたちをバックアップしました。

【成果と課題】

講座を通して、子どもと大人が同じ達成感を味わい、人をつなぐ、そして、地域をつなぐ取り組みができたことは、大きな成果になりました。市民センターで行われた文化祭の中で、子どもたちの努力の成果と、協力者への感謝の気持ちを伝える展示コーナーを設け、沢山の方に見ていただくことができました。そして、北九州市子どもを育てる10か条を踏まえ、地域が取り組むべき役割を実施した講座になりました。この講座を通して、家族だけではなく、地域を構成するあらゆる団体に、『子どもを見守り、育てる』ことへの理解・協力を得ることが必要だと思いました。今後も、人を繋ぎ、地域のパイプ役を担う市民センターとして、広い視野を持った継続的な取り組みを実施していきます。



【問合せ先】 北九州市立折尾東市民センター
〒807-0824 北九州市八幡西区光明2-2-50
TEL 093-601-8991 FAX 093-601-9001

「共に創る地域自治を目指して」～自分たちのまち意識の高まりへ～

春日市須玖北地区公民館

【地域の概要】

春日市の35地区は自治会を構成し、公民館を活動の拠点とし、地域自治を推進している。また、各自治会は中学校区で連携すると共に、全体で自治会連合会という形をとり、各地区の活動と全体の協働性とを調和させていこうとしている。須玖北地区は、春日市の北部に位置し、弥生時代の遺跡の上に今を生きる人々が暮らしている。須玖岡本遺跡や神社、地区祭り、どんど焼きなどの伝承行事を大切にしつつ、「安心安全、そして、人の繋がり」の理念のもと、取組を進めている。次代へ繋ぐコミュニティスクールの取組も大切な柱の一つである。

【人・地域・コミュニティスクール】

中学生の公民館登校…春日北中学校校区には5つの地区があり、中学生はそれぞれの地区公民館に登校する。一年間の始まりである四月の大切な「地域集会」である。

須玖北地区公民館にも毎年約90名の中学生がやってくる。生徒代表の進行により進められる地域集会の中で、自治会から地域の成り立ちや願いを伝えたり、学校から「社会性・帰属感」の意味と意義を考えさせたりなど、地域と学校と子どもたちの協働の取組のスタートが切られる。分担や強制ではなく、「自分の地域を知り地域の活動に参加しようとする意識・自分たちのまち意識」への高まりを期待している。

子ども交流事業…地域の子どもの同士や大人とのつながりを子ども交流事業という形で進めている。地域住民を指導者とし、折り紙や手芸をはじめ、須玖北地区のジオラマをダンボールや折り紙で作ったり、高齢者とグラウンドゴルフをしたりするなど、繋がりづくりを目指した交流を行っている。

【課題と展望】

公民館が人を繋ぐ拠点として機能するため、仕組みの整理や日常運営の工夫をしてきた。願いを具体化し人や時が繋がる行事（祭り・文化祭・運動会）や、情報発信（回覧板・広報紙・HP・掲示板）の工夫も大切となる。取組の向こうに地域の実態や人の顔を描きながら、柔軟でぶれない取組が求められると考える。安心して声を掛けられる自治会/ちょっと気軽に立ち寄れる公民館でありたいと願う。



須玖岡本遺跡へ思いを重ね、勾玉作りを楽しむ地域住民



地区公民館で中学生の地域集会



公民館で楽しく手芸や工作



【問合せ先】 須玖北公民館（須玖北コミュニティ供用施設） 須玖北地区自治会
〒816-0864 春日市須玖北5-151
TEL 092-581-6624 FAX 092-581-6819

『災害を通して公民館の在り方を考える』

大牟田市三川地区公民館

【区域の概要】

本公民館は大牟田市の南西部に位置し、南側は熊本県荒尾市と隣接しております。区域内には三池港や三川坑が存在するため、近代化遺産に関わる地域活動も活発に行われています。

【避難所の状況】

令和2年7月6日、大牟田市は観測史上最大の豪雨に見舞われました。その際、本公民館は避難所となりました。地域の方以外にも帰宅途中で車が浸水し立往生した方やデイサービスの利用者と送迎スタッフなど、ずぶ濡れになった避難者が途切れることなく来館されました。当初、受付時に新型コロナウイルス感染症対策に伴う検温や体調の聞き取り等を行っていました。しかし、対応が追い付かず、密の状態が続きました。



【写真1:公民館に流れ込む雨水】

17時頃には公民館の周辺の道路は冠水し車での往来はできなくなり、深夜、その水が床上10cm以上に達し、職員も2階に避難しました。(写真1)避難者は170人を超え、廊下や階段のおどり場にも避難場所を確保しましたが、超過密状態のなか、避難者には一晩我慢していただきました。その間、誰一人も苦情を言わず、ただひたすらに時間が経つのを待たれている姿がありました。翌日、朝から自衛隊の救助ボートにより避難者は救出され、最後に我々職員が11時に公民館を離れました。本館がまさかこんな状況になるとは想像もできませんでした。

【利用者や地域の方のボランティア活動】

8日から床上浸水した1階の清掃作業に入りましたが、雨水や汚水により、1階の床は表面の汚れだけではなく不衛生な状態でした。職員だけで始めた清掃作業でしたが、サークル会員や地域の皆さんからも応援をいただき、床の洗浄や使えなくなった備品の片付けなど、精力的に協力していただきました。(写真2)おかげで、10月12日に一部を除いて開館することができました。改めて公民館と協力いただいた皆さんとの絆の深さを感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。



【写真2:ボランティアの皆さん】

【これからの公民館】

公民館は社会教育法のなかで社会教育施設として位置付けられていますが、市民との協働によるまちづくりが推進されているなか、これまで以上に地域活動の拠点、地域の身近な場所にある公立施設としてその役割を担わなければなりません。避難所としての役割もその一つのひとつだと考えます。今回、本館で避難された皆さんや被災後に公民館の清掃活動に加わっていただいた皆さんの関わり方は様々ですが、公民館に期待している想いは同じだと感じました。そうした想いに応えるためにも、皆さんにとって身近な存在である公民館となるように、これからも互いの想いを共有したり助け合ったりする「つどう」場としての公民館でありたいと思います。

【問合せ先】 大牟田市三川地区公民館

〒836-0072 大牟田市上屋敷町1-12-3

TEL0944-52-5957 FAX0944-52-5998

シニアパワーアップ塾 ～地域で元気に活躍する 70 歳現役社会の実現を目指して～

添田町そえだ公民館

【地域の概要及び経緯】

添田町は福岡県の東南端、大分県との県境に位置し、明治 44 年 4 月 1 日に町制を施行し、今年 110 周年を迎えます。日本三大修験道の霊場として、古から多くの人々の信仰を集める北部九州最高峰の霊峰「英彦山」をはじめ、国内で初めて指定された耶馬日田英彦山^{いにしえ} 国定公園などの雄大な自然と歴史、文化が今日まで受け継がれています。

今回紹介する「シニアパワーアップ塾」は、高齢者人口が県内でも 2 番目に高い割合となっていた添田町において、年齢に関わりなく地域で活躍し続けることができる「70 歳現役社会」を目指すために、高齢者を対象にしたまちづくりボランティア育成講座として始まりました。

【活動内容】

シニアパワーアップ塾は、そえだ公民館で 55 歳以上を対象にしたボランティア育成講座を開設し、そこで学んだ経験や技術を活かして、地域ボランティア活動や学校での見守りスタッフ等に参加しています。

主な年間活動は皆さんの生きがいづくりに繋がり、趣味や技術を活かした講座を企画したり景観美化作業として、公民館や地域の除草作業など自然の中でのボランティア活動に参加したりしています。

また、毎年夏休みに町内の学童保育所において、学習時間の見守りスタッフやけん玉、コマ回しなどの昔遊びを指導しています。そのほかに平成 29 年度から小・中学生を対象にした放課後学習「英峰日進塾」では、学習支援員として勉強をサポートしています。学習を通じてシニア層と子どもたちとの交流が図られています。

育成講座として、昨年度は全 6 回の講座（ゲームでコミュニケーション、ミニおせち作り、簡単なガーデニング&DIY、絵画入門、防災講座、文化財巡り）を実施しました。仲間づくりやメンバー全員で活動することの楽しさを実感できるような講座内容を企画し、講座終了後の 2 年目からシニアパワーアップ塾のメンバーとして、地域や学校でのボランティア活動に協力していただいています。

【成果と課題】

シニアパワーアップ塾での高齢者の仲間づくりや学びの活動が、地域や子どもたちを支える、きっかけづくりとなりつつあります。今後は、地域や学校などにより入り込めるような活動を検討し、更に人数が拡充するよう、定期的な塾生募集や広報周知だけではなく、地域活動の場や現役をリタイアされた方へ参加の輪を広げていきたいと思ひます。



【学童保育所での昔遊び指導の様子】



【育成講座/文化財巡りの様子】

【問合せ先】添田町そえだ公民館（添田町教育委員会 社会教育課 文化振興係）

〒824-0601 福岡県田川郡添田町大字庄952番地

TEL/FAX 0947-82-2559

令和2年度福岡県公民館実践交流会 報告

福岡県公民館連合会 事務局

1 令和2年度の福岡県公民館実践交流会について

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参集しての開催を中止し、例年作成している「資料集」を充実させた形で配布し、紙上開催とすることとしました。参加者アンケートについては、「資料集」郵送時にアンケート用紙と返信封筒を同封し、Web 回答と紙面による回答ができるようにしました。

2 大会参加者数及びアンケート回収状況

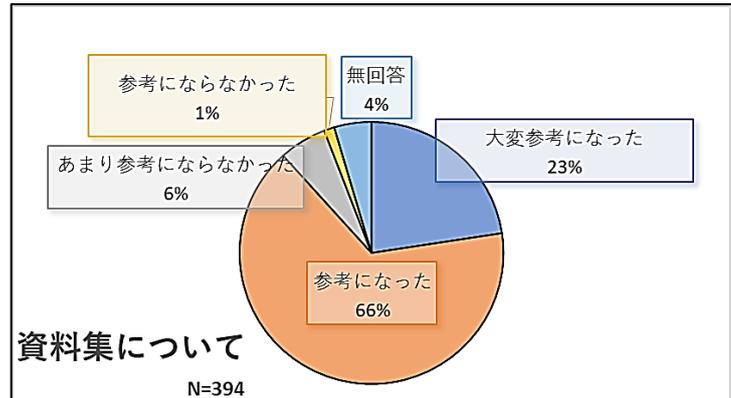
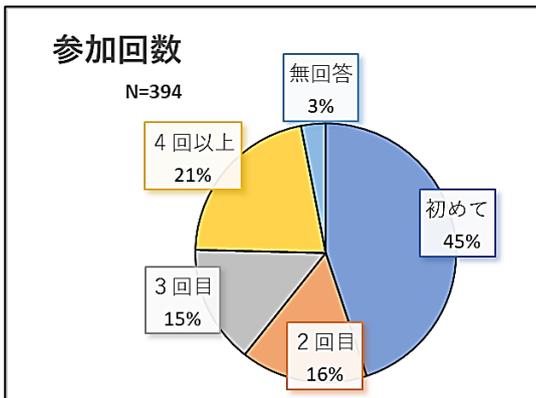
(1) 大会申込者数 1754名 (市町村参加者のみ)

(2) アンケート回答 394名 (Web 回答：146名 紙面回答：248名 回収率：22.4%)

※昨年度回答：431名 (54.3%)

3 アンケートのまとめ

(1) 参加回数及び資料集について (集計結果)



(2) いただいた主な御意見等

【事例の取り上げ方 (テーマ) 等について】

- ・子どもと高齢者の事例も大切と思いますが、成人 (中年層) の事例がもう少しあればよいと思います。
- ・今年度は、実践交流会の取組時期がコロナ禍の中であるため、どの団体もウィズコロナの取組の発表がなかったと思います。来年度はコロナ禍における公民館活動やコミセンにおけるウィズコロナの取組状況の発表をお願いします。

【開催形態 (書面開催) について】

- ・会場が遠いとなかなか行けないこともあり参加が難しいが、今回のように資料をいただけると何度も見返すことができ良かった。
- ・今回コロナ禍という特別な状況での書面開催となったわけですが、普段参加していない多くの関係者に情報が行きわたり、知らないことが知れて結果的に良かったと思います。今後もこのような「書面開催」の適宜開催を期待します。

4 来年度実施に向けて

今大会は、コロナ禍の影響により参加者の皆様の安全を確保するため、「資料集」の送付のみとしました。やはり、「参集しての協議がしたかった」や「実践発表者の生の声から熱を感じたかった」などの御意見が多くあり、公民館の大切な機能である「つどう」ことの価値について改めて考えさせられました。一方で、集合形式での開催では参加が難しかった方にも情報を提供することができたという成果もございました。今後も参集、WEB、資料提供等を組み合わせながら、県内公民館関係者の皆様に情報と学びの場を提供できるよう尽力してまいりたいと思います。

最後になりましたが、貴重な実践を提供いただいた公民館等関係者の皆様に、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

■ 来年度の実践交流会

次年度は令和4年1月28日 (金)、会場を「宗像ユリックス」にて開催する予定としております。たくさんの御参加をお待ちしております。